

作家

久間 十義  
「小説と私」

・・・久間さんからのメッセージ・・・

自分の生い立ちに即して、文学への開眼(?)から、どうやって小説を志したのか、また小説を書き始めて、どのように小説について考えるようになったのか、いまどのように小説や文芸について思っているのかを、お話ししたいと思います。



2018年

6/10



13:30～15:30 (開場 13:00)

塩尻市市民交流センター(えんぱーく) 3階・多目的ホール

定員/80名(先着順) 参加費/無料 申込開始/5月6日(日)

## 申込方法

本館総合カウンター、電話(0263-53-3365)、Eメールのいずれかでお申し込みください。Eメールの場合は、次の内容をお送りください。

- 宛先 tosho@city.shiojiri.lg.jp  
 件名 「6/10本の寺子屋申込」  
 本文 1 参加者全員の氏名(フリガナ)  
 2 代表者電話番号  
 3 お住まいの地区  
 4 この講演会を何で知ったか(新聞、広報など)

本の販売と  
サイン会が  
あります!



久間 十義(ひさま じゅうぎ) 1953年北海道生まれ。早稲田大学第一文学部卒。87年『マネーゲーム』で文芸賞佳作。90年『世紀末鯨鯢記』で三島賞。いわゆる純文学からエンタテインメントへとジャンル横断的に書き継いでいる。著書に『刑事たちの夏』『ダブルフェイス』『放火』などの警察小説、『聖ジェームス病院』『生存確率——生命徴候あり』、病気腎移植を扱った『禁断のスカルペル』などの医療小説、『狂騒曲』『黄金特急』などの経済小説がある。北海道とアイヌを扱ったものには『魔の国アンヌピウカ』『オニビシ』などがある。近刊文庫本は『デス・エンジェル』など。

問い合わせ

塩尻市立図書館本館 TEL:0263-53-3365 E-mail:tosh@city.shiojiri.lg.jp (毎週水曜日休館)